

大阪湾港湾広域防災協議会（第13回）

資料2 令和8年度の大坂湾港湾機能継続計画推進協議会の 検討事項について（案）

令和8年3月9日

国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

資料 2 令和 8 年度大阪湾港湾機能継続計画推進協議会の検討事項について（案）

1. 災害時航路啓開について

○航路啓開を担う作業船の燃料調達方法の検討

：過去の災害（東日本大震災・能登半島地震・平成 30 年台風 21 号等）で航路啓開を担った作業船の燃料調達にかかった情報を整理する。また、大阪湾内とその周辺地域及び南海トラフ地震発生に伴い、大阪湾内が被災し、燃料の広域調達を行う必要が生じた場合の情報共有及び調達方法について検討を行う。

○航路啓開を担う作業船の係留場所の検討

：航路啓開する作業船の係留場所を作業内容別に検討し、関係者との合意形成に向け、必要事項を抽出しとりまとめを行う。

2. 大阪湾BCPの実効性向上のための総合的な図上訓練の実施について

○実践的演習訓練の継続

：包括協定書に基づく情報伝達訓練（緊急確保航路から大阪湾諸港の港湾区域に至る具体的な航路啓開シミュレーションの実施）

3. 大阪湾BCP（案）の実効性向上に向けた訓練計画の策定や詳細手順等の更新

○大阪湾BCP（案）の応急復旧（陸域等）・航路啓開に係る手順書の更新

：連絡通信手段のリダンダンシーの確保（複数の通信手段の確保方策）等

○今後の訓練計画の策定：教育的視点を加えた訓練プログラムの検討及び手順書の更新に資する訓練プログラムの検討

○アクションカード作成に向けた航路啓開に係る一連の流れを事象別にフロー化